

太田道灌公を大河ドラマに！ 推進ニュース



No.75号 2021年4月10日 発行

編集・〒259-1103 伊勢原市三ノ宮 362-6 三上利栄

電話&FAX (0463) 95-0807 (電話は17:00以降)

観ボラのホームページ

<https://kankobora.amebaownd.com/>

<https://youtu.be/UIL7S-gkCLs>



◆「太田道灌の集い」がユーチューブに御覧ください。見ごたえあり
いせはら観ボラが作成したものです。太田道灌の終焉の地の伊勢原市のいせはら観ボラと道灌顕彰会、伊勢原市が共同で道灌の命日を偲んで毎年開催している「太田道灌の集い」を紹介しています。この集いを発展させて大河ドラマに挑戦する実行委員会の活躍を紹介しています。ご覧いただきNHKに要望の署名運動にご協力ください。



尾崎孝先生の講座



道灌 18代目太田資暁さん

◆道灌非業の最後をひも解く講座開催 ◆伊勢原市で尾崎孝先生が講演

3月24日伊勢原市内で文化庁歴史遺産事業講座として「太田道灌非業の最期を諸文書による考察」と題して道灌紀行の著者尾崎孝さんが90分にわたり講演をしました。(写真)「道灌状による道灌の忠誠心」と「上杉定正の弁解めいた文書」そして万里集九の梅花無尽蔵による惜別の言葉など引用して解説しました。質問は、「上杉定正の道灌への懺言の根拠は」などについて行われ、上杉定正の言葉を紹介して解説がありました。この日の参加者はコロナ禍のもと35人が参加しました。司会は三上利栄、挨拶をいせはら観ボラ会長山口靖之さんがおこないました。



天守閣再建完成図

◆3月31日は太田資暁さん講演 ◆江戸城の天守閣再建！ 現状と展望

文化庁歴史遺産事業講座として講師は道灌18代目・江戸城再建の会、会長太田資暁さんが3月31日伊勢原市内で「江戸城に天守閣を、現状と展望」と題して観光立国の目玉、江戸城に天守閣を」と講演しました。(写真)

「天守閣はあったんですか」「見通しは？」「財源は？」「木材で再建では、もうひのき材はおさえたのか」等の多くの質問もあって盛会でした。観光立国日本として本気になって実現しようではないかと異口同音の意見が続きました。プロシエクターを使つての講演に初めて聞く人も拍手が続いていました。外国人の観光のメッカはなんといっても東京・江戸城です。

東京駅に降り立った外人が見事な江戸城を見て「ワンダフル」と言っている姿を想像することは将来、楽しみであることと示してくれた夢とロマンにあふれた講演でした。「本当によくわかった」との感想がありました。

埼玉・新越生町長新井康之さん 新井雄啓前町長さんご苦労様でした

大河ドラマ推進自治体協力会の会長新井雄啓町長は2月の選挙で勇退され、議員だった新井康之さんが当選しました。この町長さんも大河ドラマに熱心に協力して下さっている方です。過去2回ほど伊勢原の「道灌の集い」に伊勢原まで来てくれます。お互いに協力し合って大河ドラマを実現しましょう。



越生道灌像テープカット

伊勢原市制50周年記念切手に 太田資暁さんが登場です

令和3年2月1日が伊勢原市の市制50周年記念日です。市はいろいろなイベントを企画していますが、その中で表題のように記念切手に太田資暁さんが登場します。太田さんは、かつて平成23年伊勢原市の「第44回道灌まつり」で道灌役で登場しています。ご期待ください。

NHK陳情を3月30日付で義家議員 に再度要請しました

NHKへの陳情は義家弘介衆議院議員を通じておりますが、実行委員会では、この度、再度要請を行いました。署名も26万を超え、道灌のドラマへの国民の要求は日増しに広がっています。コロナ情勢ではありますが、宣言も解除されたことですし、大至急代表団との陳情要請に応じていただきたいと要請しています。

コロナ禍情勢ですが創意と 工夫で署名をお願いします

東京の新里さんが75筆、いせはら観ボラ役員10筆など全国から「ぜひとも実現を」との署名が寄せられています。現在署名は全国から集計26万2310筆です。コロナ情勢の中で署名の伸びがのろくなっています。NHKへの陳情は、その後もお願いしていますが、まだコロナ情勢を理由に延びています。今こそ署名を伸ばして展望に接近

道灌を大河ドラマにの實現を！実行委員会からのお願い

三上実行委員長が訴え

「文武両道の鑑・太田道灌を大河ドラマに」の運動は全国に大きく広がっています。全国47都道府県からの26万余筆の署名がその力を示しています。ご承知のように、今までは、大河ドラマの推進は自治体や観光協会の主要団体が開催していましたが、私たちは一市民が「資金なく、事務所なく、無手勝流」のボランティア活動で声をあげ、47都道府県を訪ね署名をコツコツ集めてきたいわゆる「市民主体の推進」です。これは、大河ドラマの歴史で初めてと言われています。この点はNHKも「敬服している」と認めてきています。「道灌は大河ドラマにふさわしいヒーロー」です。①署名を広げてください。②賛同自治体を広げてください。③コロナ禍で資金面で貧乏しています。ご協力ください。④道灌の資料ありましたらお寄せください。NHKに届けます。コロナには注意をしつつ活躍してください。「大河へと夢とロマンの花の道」

しましょう。皆さんのご協力お願いします。署名用紙は独自に作成は結構ですが署名数はぜひ三上までお知らせ下さい。連絡先・宛名はニュースの表題にかいてあります。

最近道灌記事が紙面を飾る

埼玉県越生町で昨年12月に道灌の銅像が建立しました。この銅像は伊勢原市役所前のものと同じもので新聞に大きく掲載されています。また東京新聞の最新号ではJR山手線日暮里の駅前の道灌像が、日経新聞大河ドラマ関係で登場しています。(神奈川版)

伊勢原市制50周年記念講演 「道灌の一生」を黒田基樹先生

伊勢原市では7月31日50周年を記念して講演会を開催します。午後1時より伊勢原市市民文化会館大ホールです。詳細はおつて具体的にお知らせします。

第6回道灌サミットを開催します

7月31日午前11時より予定してください

第6回道灌サミットを開催します

7月31日午前11時より伊勢原子ども博物館ホール(市民会館のとなり)です。具体的にはコロナ情勢を見つつ確定しますが予定をしておいて下さいませんか。お願いします。

道灌サミットは関東と近県の道灌関連の自治体の代表者と大河ドラマ賛同団体と個人の合同会議です。当日は、経過を承認して当面の方針を確認し活動の交流を計ります。なお、例年行ってきた「道灌の集い・大集会」は今年行わず、市の記念講演会「道灌の一生」(仮) 黒田基樹先生の講演に合流します。ご了承しご協力ください。